

田辺三菱製薬工場株式会社で医薬品の製造を体験（山口県 GMP カレッジ）

2月21日（水）、田辺三菱製薬工場で本学薬学部4年生・5年生の4人がGMPカレッジ体験学習を行いました。

山口県GMPカレッジとは、山口県、山口県製薬工業協会及び本学の産学公連携による医薬品製造所の人材確保等の支援及びGMP人材育成プログラムの作成・実施を目的とした本学薬学部・工学部の学生等向けの事業です。

学生は、田辺三菱製薬工場の会社説明を受けた後、医薬品の製剤・製造から包装、品質管理までの工程を学び実習を体験しました。実習体験では、企業担当者指導の下、積極的に機器を操作し、質問していました。この体験では、私たちが日頃から、医薬品を安心して服用出来るのは、GMP「医薬品の製造管理及び品質管理の基準」による厳しい品質管理がされているからであり、あらためてGMPの重要性に気付くことが出来ました。

また、企業担当者には、薬剤師の方が居られ、ご自身の大学生活や製薬企業に就職した理由などをお話しくださいました。参加した薬学生は、薬剤師で企業に入社された薬学を学んだ先輩の話に目を輝かせ聴いていました。学生からは、製品開発の現場でも患者さんのことを考えて商品開発の検討がされていることや、医薬品製造における造粒法などで用いられる機器を実際に見て、どの様にして造粒されているかなど学ぶことができたとの感想がありました。この体験を通して、学生の就職選択肢が広がることを期待しています。

